

2016年度(平成28年度)活動報告

I. セミナー

テーマ	講師(所属機関)	司会	期日	主催者	共催者
“Still Photographs, Travelling Memories and Connected Histories of Civil Rights Movements in Australia and the US”	Maria Nugent (Australian National University)	西崎文子	2016年 5月10日	CPAS	
“The 2016 American Presidential Campaign: A New Political Realignment?”	Matthew Filner (Metropolitan State University)	西崎文子	2016年 5月26日	CPAS	
“Ayn Rand Nation?: A Novelist’s Political Legacy”	Claudia Franziska Brühwiler (University of St. Gallen/Keio University)	西崎文子	2016年 6月6日	CPAS	
“Frogs, Toads and the Arctic: Science and Madness at the American Museum of Natural History”	Ann Fabian (Rutgers University/the University of Tokyo)	橋川健竜	2016年 12月13日	CPAS	

II. シンポジウム等

- ・「森山威男 スイングの核心——1970年代日本におけるフリージャズの創造」
日時：2016年11月20日(日) 13:30-17:30
場所：東京大学駒場キャンパス18号館ホール
討論：松原隆一郎(東京大学)
長谷部浩(東京藝術大学)
マイク・モラスキー(早稲田大学)
森山威男(ジャズドラマー)
挨拶：西崎文子(東京大学)
共催：東京大学アメリカ太平洋地域研究センター(CPAS)、科学研究費基盤研究(C)「森山威男のフリースタイル奏法のデジタルアーカイブ作成および対話を通じた分析と考察」
- ・「戦後世界秩序を振り返る——2017年から」
日時：2017年3月10日(金) 13:00-17:00
場所：東京大学駒場キャンパス18号館ホール
報告：開会の挨拶：古矢旬(北海商科大学)、基調講演：酒井啓子(千葉大学)、
パネル・ディスカッション：Rob Kroes(ユトレヒト大学)、David Faber(テンブル大学)、Kenneth Ruoff(ポートランド州立大学)、司会：西崎文子(東京大学)
主催：科学研究費基盤研究(A)「東アジアにおけるアメリカ認識の相克——日中韓比較による総合的研究」(代表：古矢旬)

共催：科学研究費基盤研究 (B)「現代アメリカ外交の「視座」形成過程をめぐる複合的研究」(代表：西崎文子)、科学研究費補助金新学術領域研究「グローバル関係学」計画研究B01「規範とアイデンティティ：社会的紐帯とナショナリズムの間」(研究代表：酒井啓子)、東京大学アメリカ太平洋地域研究センター (CPAS)

Ⅲ. 研究プロジェクト

- ・日本学術振興会科学研究費補助金・基盤研究 (B)
「現代アメリカ外交の「視座」形成過程をめぐる複合的研究」(代表：西崎文子)
- ・日本学術振興会科学研究費補助金・基盤研究 (C)
「19世紀前半のアメリカ合衆国における太平洋像とそこに映し出された合衆国理解の研究」(代表：遠藤泰生)
- ・日本学術振興会科学研究費補助金・基盤研究 (C)
「北米大陸史枠組み構築のための1812年戦争研究：双方向的把握の試み」(代表：橋川健竜)

Ⅳ. 出版活動

- ・『CPAS Newsletter』Vol. 17, No. 1 (2016年9月)、No. 2 (2017年4月)
- ・『アメリカ太平洋研究』第17号 (2017年4月)

Ⅴ. センター所属教員の2016年1月から12月までの研究活動

西崎文子

[学術論文]

- ・編集、「はじめに」担当、西崎文子・武内進一(編著)『紛争・対立・暴力 世界の地域から考える』、(岩波書店 [岩波ジュニア新書]、2016年)、177頁、iii-xiv頁。
- ・「論争する国、アメリカ」、桐光学園中学校・高等学校(編)『高校生と考える世界とつながる生き方』(左右社、2016年)、334頁、302-318頁。

[その他の執筆]

- ・コメント、“Trans-Pacific Partnership: Open Markets or American Power? A Response to Kurt Tong,” *The Australasian Journal of American Studies* 34, vol. 2. pp. 22-24. Australian and New Zealand American Studies Association and the United Studies Center at the University of Sydney. December 2015.
- ・巻頭言「特集『「渚にて」再訪——核、ハリウッド、オーストラリア』によせて」『アメリカ太平洋研究』第16号、2016年、5-6頁。
- ・講演録「ピースデポ 第17回総会講演会抄録 日米関係と日本の核政策——歴史からの問い」『核兵器・核実験モニター』第493号 (2016年4月1日)、6-8頁、第494号 (2016年4月15日)、6-7頁、第495号 (2016年5月1日)、5-7頁。
- ・巻頭言「米国大統領選挙と歴史の問題」JAIR Newsletter (日本国際政治学会) 147, 2016

年4月

- ・ エッセイ「大統領の折り鶴の意味を考える」『淡青』33、2016年9月、13頁。
- ・ 新聞記事「この国はどこへ行こうとしているのか トランプという嵐」『毎日新聞』2016年12月13日。
- ・ 新聞記事「識者座談会・米大統領選」共同通信社配信、2016年11月10日。
- ・ 新聞記事「今週の本棚・この三冊 米大統領選」『毎日新聞』、2016年10月2日。
- ・ 新聞記事「論点 変容する日米関係」『毎日新聞』、2016年7月6日。
- ・ 新聞記事「どう見る 米大統領広島訪問」『中国新聞』、2016年5月20日。

[学会活動等]

国際学会

- ・ Symposium for the 40th Anniversary of the Center for American Studies, Nanzan University “American Studies in Japan: Its History, Present Situation, and Future Course,” 南山大学アメリカ研究所、南山大学、2016年7月2日、招待講演。“Practicing American Studies in an ‘Age of Fracture,’” 英語。
- ・ “70 Year Postwar Symposium Series: Thinking Together about the World and Japan: Symposium 4, Looking to the Future of the World, Asia, and Japan,” 国際文化会館 岩崎小弥太記念ホール、2016年3月8日。英語。パネリスト。

国内学会

- ・ 第24回地域文化研究専攻主催公開シンポジウム「今、人文・社会科学に何ができるか?」、東京大学総合文化研究科地域文化研究専攻、東京大学駒場キャンパス18号館ホール、2016年6月25日、一般発表、「地域研究の視座と文脈——米国研究からの問い」。
- ・ 『『冷戦史を問い直す』再考』、CHIR—Japan (国際関係史学会) 研究会、東京外国語大学本郷サテライトオフィス、2016年11月12日。コメント。
- ・ 「地域研究の意義を考える」、日本学術会議第一部地域研究委員会地域研究基盤整備分科会主催シンポジウム、日本学術会議講堂、2016年10月8日、総合企画、司会。

[その他の研究活動]

- ・ 日本学術会議第一部会員

松原隆一郎

[著書]

- ・ 『経済思想入門』(ちくま学術文庫、新世社版『経済思想』の改訂新版)

[その他の執筆]

- ・ 文庫解説『この世はウソでできている』(池田清彦著、新潮文庫)
- ・ 文庫解説『醜い日本の私』(中島義道著、角川文庫)
- ・ 時評(「時のおもり」)、『中日新聞』『東京新聞』、10本
- ・ 時評(「針路21」)、『神戸新聞』、1本
- ・ 書評、『毎日新聞』(9本)、『共同通信』(1本)

[研究会報告]

- ・ 「経済における不確実性と倫理」(規範経済学研究会、一橋大学経済研究所、規範経済学センター、7月29日)

- ・「オリンピックの経済効果について」(平成28年度第6回経済学研究会、福山大学経済学部、宮地茂記念館205号室、10月26日)

[制作]

- ・「森山威男 スイングの核心」(監督・シナリオ、平成26～28年度科学研究費基盤研究(C)「森山威男のフリースタイル奏法のデジタルアーカイブ作成および対話を通じた分析と考察」)

[上演・シンポジウム]

- ・「森山威男 スイングの核心 1970年代日本におけるフリージャズの創造」(東京大学アメリカ太平洋地域研究センター(CPAS)、東京大学駒場キャンパス18号館ホール、11月20日)

[雑誌対談]

- ・小池百合子・松原隆一郎「無くします、利権も電柱も」(『WiLL』10月号)
- ・御厨貴・松原隆一郎「国会通信簿」(『週刊朝日』2016年7月1日号)

[講演]

- ・「なぜ、無電柱化が必要か 電線のない街がもたらすもの」『第2回無電柱化推進展』東京ビッグサイト、2016年7月22日。
- ・「2017年の日本経済の課題と展望」(県北・県南政経懇話会(大館・大曲)12月例会、秋田魁新報社、12月20・21日)

[公開鼎談]

- ・松原隆一郎・堀部安嗣・古川日出男(阿佐ヶ谷書庫内覧会、5月29日)

[運動会部長]

- ・柔道部長

[学外委員]

- ・ナショナル・レジリエンス懇談会(内閣官房)委員
- ・復興推進委員会(復興庁)委員
- ・杉並区芸術懇談会座長
- ・日本芸術文化振興会評議員
- ・無電柱化民間プロジェクト幹事長

遠藤泰生

[そのほかの執筆活動]

- ・センタープロジェクト紹介「19世紀前半のアメリカ合衆国における太平洋像とそこに映し出された合衆国理解の研究」『CPAS Newsletter』Vol. 17, No. 2 (2016年9月)、6-7頁。

橋川健竜

[教科書執筆(編集委員も担当)]

- ・「アメリカ革命・ハイチ革命」、「ラテンアメリカの独立とスペイン」、「アメリカ大陸諸国の体制変革」、「メキシコ革命と制度的革命党」、「戦後ヨーロッパとアメリカ」、南塚信吾・秋田茂・高澤紀恵(責任編集)『新しく学ぶ西洋の歴史 アジアから考える』(ミネルヴァ書房、2016年)、89-90頁、121-122頁、153-155頁、265頁、275-278頁。

[学会活動]

- ・編集委員、*The Japanese Journal of American Studies* (アメリカ学会)

寺川隆一郎

[学会活動等]

- ・報告「J. R. コモンズの貨幣供給論は内生説か外生説か？——初期貨幣制度改革論を手がかりに」、進化経済学会第20回全国大会、東京大学、2016年3月26日。

佐藤雅哉

[学会活動等]

- ・報告：“The Arab-Israeli Question in the U.S. Human Rights Movement during the 1970s,” American Studies Conference 2016, sponsored by the America-Japan Society, supported by the Embassy of the United States of America, at the International House of Japan, Minatoku, Tokyo, Japan, September 29, 2016.

グローバル地域研究機構運営委員会（2016年度）

大学院総合文化研究科・教養学部

(機構長・運営委員長)

(副研究科長)

(言語情報科学専攻)

(言語情報科学専攻)

(超域文化科学専攻)

(超域文化科学専攻)

(地域文化研究専攻)

(地域文化研究専攻)

(国際社会科学専攻)

(国際社会科学専攻)

(生命環境科学系)

(相関基礎科学系)

(広域システム科学系)

(機構)

(機構)

(機構)

(機構)

(機構)

(機構)

(機構)

(機構)

(機構)

(機構)

大学院法学政治学科・法学部

大学院人文社会学研究科・文学部

大学院経済学研究科・経済学部

大学院教育学研究科・教育学部

大学院新領域創成科学研究科

東洋文化研究所

西崎文子	教授
石田淳	教授
加藤恒昭	教授
星埜守之	教授
三浦篤	教授
岩本通弥	教授
石田勇治	教授
和田毅	准教授
古城佳子	教授
佐藤俊樹	教授
豊島陽子	教授
岡本拓司	准教授
梶田真	准教授
遠藤泰生	教授
松原隆一郎	教授
橋川健竜	准教授
森井裕一	教授
関谷雄一	准教授
佐藤安信	教授
遠藤貢	教授
杉田英明	教授
村松真理子	教授
月脚達彦	教授
久保文明	教授
平野聡	教授
寺谷広司	教授
源河達史	准教授
水島司	教授
本田洋	准教授
諏訪部浩一	准教授
小野塚知二	教授
北村友人	准教授
中山幹康	教授
長澤榮治	教授
佐藤仁	教授

以上、35名